

# シルバーだより

1983  
6  
NO.5



◆発行 社団法人  
シルバー人材センター  
所沢市高齢者事業団  
所沢市西新井町20-1 ☎0429(95)0095

## 定期総会開かれる

—— 契約額は年額一億円突破 ——



昭和58年度の定期総会が5月26日所沢市文化会館で開かれ、会員80名が参加して盛大に行われました。当日は地元出身の県議会議員を代表して、大石忠之県議に来賓としてご臨席をいただき、次のような祝辞と激励のことばをいただきました。「当事業団が高齢化社会に対応した施策の要として、業績はもとより、常に先駆的な役割りを果し

てきた実績は大きく、今後の発展を祈ります。」

また、事業報告によりますと、年間の契約額がついに、念願の1億の大台を突破し、年間就業率も61パーセントと大きな伸びをみることができました。他市の状況からみましても、現在の組織、体制（会員数、職員数等）のなかでこの実績は高く評価されましょう。

議案の審議が順調に進められて、3時30分には全議案が可決されました。引き続き高齢化社会への理解と、高齢者の生きがいとは何かを、シルバー人材センターで就業する高齢者を通して描いた映画「高齢化社会を生きる」を観賞して総会を終わりました。



## 役員の変替

市議会から選出されておりました理事のうち2名が次のとおり交替となりました。

(退任)	小 高 多 助	(新任)	肥 田 埜 孝	
	越 阪 部 爽		金 子 光 子	(敬称略)

## 除草シーズンたけなわ

ただ今、事務局には市役所をはじめ、各家庭などから除草作業の注文がかなりきております。体力に自信があり、やってみようと思われる方は、男女を問わず事務局へ御連絡下さい。お待ちしております。

「何んだ草とりか」と思いがちですが、太陽を全身に受け、新鮮な空気を胸一杯吸って、土の上で仕事をするのはまた、長生きの一つかも知れません。

事務の仕事だけを待っても、なかなか仕事の機会に恵まれないのが現状です。一思いに地下足袋をはいて大空の下へ飛び出してみませんか!!

新所沢地区のNさん(元某会社経理部長)松井地区のOさん(78才)旧町のCさん(78才)たちは、真黒に日焼けして市内の除草作業に今日も大奮闘です。

## オートテニス場の管理を担当して

小手指地区 長野 瑞穂

前号の「発注者の声」欄で(株)鷺宮製作所の吉田総務課長さんが当事業団から派遣員を受け入れた経緯と就業状況を述べられましたが、1名からスタートして4年後の今日は10名に達し、それぞれの職場で仕事に対する姿勢、確かさ、粘り強さを高く評価していただいていることを知り、大変有難く且つ、心強く思います。

私は松井地区の小林六郎さんと共に、昨年4月からユニオートテニス(鷺宮製作所直営の給油所に所属)で同社が製作した、オートテニス機械のショールーム的性格を持つ、テニスコートの管理業務に携っています。小林さんは以前にも当コートに勤務した経験者なので、懇切丁寧に教えていただき、良き先輩に恵まれたことを喜んでおります。この仕事は高齢者に向いて居り、単独就業ですべてを任されていますので、とても張合いがあり、責任を感じながらも毎日を楽しんでいます。開店閉店時の



諸作業をはじめ、利用客との応待、機械の調子や天候の具合（屋根がありませんので）などに合せた、臨機応変の取組みなど仲々に充実感があります。

私共の直接監督者近山所長さんをはじめ、所員（随時仕事の応援に来て下さる）の方々は皆親切で良い人達なので助かります。

同社は本年が設立35周年に当り、記念行事が行なわれていますが、派遣員の私たちにまでも記念品が配られました。昨年秋に同社各事業所合同の大運動会が、所沢工場ゲラウンドで行なわれましたは、参加賞や食券をいただき、社員と共に楽しみを分つなどの配慮があり、家族的な暖か味が感じられる企業です。

オートテニス場の業績向上には、創意工夫をこらして尽力する所存ですが、事業団からの派遣員に対して一層の、御理解と適切な御配慮を期待し、併せて、鷺宮製作所と所沢高齢者事業団との連携が、さらに強まり、相互に益々発展繁栄されんことを切望します。

追而 4月11日から新所沢地区の小出朝義さんが増援されました。3人で仲良く効果的に運営するつもりです。

## 早朝二時間の社会参加

三ヶ島地区 高橋 茂夫

去る4月1日から近くの市営自転車置場の整理員として働き始めた。私は67才の老人ではあるが、幸い健康に恵まれ、元気いっぱいだ。そこで、日頃から体の丈夫なうちは働きたい、体を動かしたい。と所沢市高齢者事業団に就業希望の登録をしていた。3月末頃事業団から自転車の整理員をやらないか、と連絡を受けた。私は即座にこれを引受けたのである。そして始めてから1ヶ月余り経った今、毎日喜んで働いている。毎朝6時45分ごろ自宅を出て現場まで自転車で僅か3～4分位の通りのみではあるが、すがすがしい朝の澄んだ空気を胸いっぱい吸って働くことは、心身の健康保持に最的だ。と私は思っている。広い世間には、もう年をとったから働かない、楽をするんだ、と言って家にとじこもり、寝たり、起きたりでは、ますます老け込んでしまうだろう。私の仕事は午前7時から9時までの早朝2時間だけのパートであれ、自転車の整理であっても働くことは神聖であり、社会参加という意味は大きいし、生きがいを感じている。私はせっかく働く機会を得たのだから体の丈夫な限り、老骨にムチ打って働き、少しでも社会のためになりたい、そして世の人々のお役に立ちたい。今日のご時世、私のような老人を世間が必要としていることに感謝し、精いっぱい働くつもりだ。



# 野鳥とのふれあい

松井地区 こけし坊主

一昨年（昭和57年）の六月のこと、庭のつくばいに野鳥が水を飲み（飲む）に姿を見せる様になった。水を飲み終ってから、庭の木々で憩い、且つさまざま（しづか）な姿態を見るのが面白く、少しでも多くの野鳥を集めてみたい希いから、庭にエサ場（エサ場）を設けることにした。犬猫の危害を防ぐため、1米40糎程の高さにし、その上に、板で正方形の浅い枡（ます）の埃（ごみ）台を作りあげる。

さて、これにより小鳥飼料のヒエ、アワ、キビ、シート混合のムキエサを買求め、これをエサ台上に播き、あとは野鳥を待つのみ、期待に胸がはずむ。初日が暮れようとしているが、とうとう一羽も姿を現さない。次の日に希望をもったが、裏切られる。徳川家康の訓えに、鳴くまで待とうホトトギスを想出す。よし来るまで待とう小鳥さんで、迎えた十日目の朝、雀が一羽エサ台に、期待に応え、とうとう姿を見せた。

すると、間もなく次から次へと餌をついばむ雀が増え、たちまち十数羽の群となり賑々しく餌をつまんでいる。

これにて、エサ台の雀の警戒心が解けたものと喜びに浸り其の後の餌付を続ける。果物類を与えるが少しも手をつけない。パン屑を粒餌に混ぜて与えて見る。幸いに粒餌より好物と見えて、残り物が無い。明日よりパン屑のみにすることに決める。

雀がエサ台に来る様になった数日後、ひよ鳥二羽が、エサ台にむれている雀を襲い交互に長いすどい嘴でつまき追払ってから、一羽ずつ交替で餌を食べ、その間他のひよ鳥は近くの木にゐて警戒を続けている。後刻に判明したことではありますが、ひよ鳥は二羽で一緒に食事をしないということです。

数日にわたる斗争の末に、エサ台はひよ鳥に占領され、雀はひよ鳥の食べ散らし下の地面に落ちてくるパン屑の僅かな餌を競い食べることとなり、この気の毒な雀を救うために、エサ台の近くの地面に餌場を増し、餌を播き与えることにした。現在でもひよ鳥以外の野鳥は、地面の播餌を仲よく食べてゐる姿は、平和そのものである。

ひよ鳥の好物は林檎である。一片も残さず食べてしまう。但し与えるときには、きりに切り且つ反面の皮の部分も一部水平に切断することに依り転らず実の部分が食べ易いということで評判の良いことは、確実です。

今のところ、雀、ひよ鳥、せきれい、きじ鳩、その他名の知れない野鳥が数種類が餌をつまき、水を飲み、水浴び、さえづり、競い私の目を耳を通じて十分に楽しませてくれる野鳥に、いついつまでも吾が庭にその可愛い姿を現すことを希い、野鳥とのふれあいの場ができたことを心より満足してゐる日々です。



# 全シ協定期総会で決議文採択

## —— 立法化による制度確立など ——

社団法人全国シルバー人材センター協議会の第2回定期総会が6月24日中野のサンプラザで開催され、北は北海道から南は沖縄まで、各センターの代表270名が参加して盛大に行なわれました。

特に、理事会から提案があり、次のような決議文が全員一致で採択され、さらに事業の飛躍を誓いました。

なお、全議案の審議終了後、大河内会長の「働く」ということについて」と題して講演があり会を終りました。

### 決議——シルバー人材センター事業の飛躍を期して——

わが国における高齢化の進展の足どりは、その足音を高め、わが国社会運営の基盤を揺がそうとしています。

高齢者の経験、能力と働く意欲が、社会的需要に呼応して発揮されるような方途を確立することは、健康で明るくいいきと生きぬこうとする高齢者の希望に応えることとなるだけでなく、わが国における活力ある高齢化社会づくりにとっても欠くことのできない重要な国家的課題であるといえます。

高齢者の自助・共助の精神に基くシルバー人材センター事業が、国の施策として発足してから早や四年目を迎え、その前身である高齢者事業団の設立からかぞえて既に九年目に入ろうとしています。現在、この事業に参加している高齢者は、八万人をかぞえ、団体数にして二百を超えるに至り、その事業活動は、幾多の困難な課題を克服しつつ、各方面からの支援を得て、着実に業績をあげてきています。

全国シルバー人材センター協議会に結集する「シルバー人材センター」及び「高齢者事業団」は、現在及び将来のわが国の高齢者の幸せをより確かなものとし、わが国高齢化社会の活力ある発展をめざして、本総会の名において次の事項に関し、政府及び全国市長会等関係方面の理解・協力、援助を強く要請します。

### 記

- 一、シルバー人材センター事業の立法化による制度確立を図ること。
- 一、シルバー人材センター事業に対する国庫補助の継続及び補助対象の拡充を図ること。
- 一、就業にともなう安全の確保と補償制度の確立を図ること。



一、全国シルバー人材センター協議会への助成の拡充を図ること。

一、都道府県、市等関係自治体の援助内容の充実を図ること。

以上決議する。

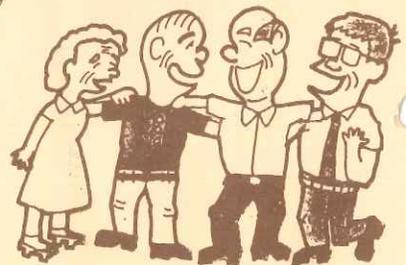
昭和58年6月24日

社団法人全国シルバー人材センター協議会 第2回定期総会

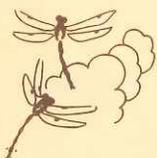
## 会費納入のお願い

本年度の会費を納めていただく時期がまいりました。まだ納めていただいていない方は、地区の委員さん(別掲)にお届けいただくか、またはご面倒でも事業団の事務所(西新井町20-1 電話95-0095)までお届け下さい。会費の額は年額600円です。

旧町地区	森田 卯助	☎22-6983
吾妻地区	村本 健次郎	☎93-8294
山口地区	新井 清一	☎22-4261
松井地区	村松 順四郎	☎44-0627
新所沢地区	高橋 義男	☎25-1807
新所沢東地区	生山 やちよ	☎94-0432
小手指地区	村田 福治	☎22-2884
富岡地区	伊藤 義雄	☎42-1618
三ヶ島地区	太刀川 武三郎	☎28-2417



### 編集後記



◎総会も終って名実ともに新しい年度に突入ということになります。

うっとうしい梅雨もやがて終り、暑い季節となりますが、身体には充分気をつけて頑張りましょう。

健康な身体あつての“生きがい”ですから——。

◎都合で総会に出席できなかった方には総会資料(議案書・会員名簿)を差しあげますから、事務局へ申し出て下さい。

